

令和6年度 福島県立博物館 博物館講座

日本遺産フェスティバル in 極上の会津 連動企画

会津の三十三観音を知る

地域の文化や伝統を語るストーリーが認定される「日本遺産」。この「日本遺産」のPRイベント「日本遺産フェスティバル in 極上の会津」（メイン会場：會津風雅堂・鶴ヶ城体育館・会津若松市文化センター）が、10月26日（土）・27日（日）に開催されます。

当館ではこのイベントに連動して、「会津の三十三観音を知る」と題した講座を開催します。平成28年（2016）に認定された「会津の三十三観音めぐり」について、当館学芸員がそれぞれ専門の視点からお話します。「日本遺産フェスティバル」とあわせてぜひご参加ください。

令和6年10月26日（土）13:30～15:00

当館講堂（先着200名・申込不要・参加無料）

「会津の三十三観音めぐりの歴史と仏像」 塚本麻衣子（当館学芸員・美術分野）

三十三観音めぐりとはどのような信仰に基づく巡礼行なのか、会津ではいつごろから行われていたのか、歴史的な背景をわかりやすく解説します。また、会津の三十三観音めぐりで拝観することのできる仏像について、その見どころや特徴をお伝えします。

「巡礼日記にみる会津三十三観音めぐりの楽しみ」 高橋 充（当館副館長・歴史分野）

江戸時代の会津の観音巡礼は、1番から順番に回るとは限りません。観音堂だけでなく近くの有名な神社仏閣や名所旧跡にも立ち寄りました。宿屋や温泉、知人の家に泊まって飲み食いしながらの小旅行。おおらかで楽しそうな巡礼のようすを、当時書かれた日記や記録などから読み解きます。

「御詠歌から知る会津の三十三観音」 大里正樹（当館学芸員・民俗分野）

「会津めぐり」と称される会津三十三観音巡礼を契機として、会津の各地区の女性たちは観音講かんのんこうという集まりを何世代にもわたって続けてきました。そうした集まりや地域の仏事の中でうたわれる御詠歌ごえいかを映像などをもとに紹介します。

【お問い合わせ】 福島県立博物館 〒965-0807 会津若松市城東町1-25

Tel 0242-28-6000 E-mail: general-museum@fcs.ed.jp